資料７

HIGASHIOSAKA



東大阪市子ども・若者計画
～子ども・若者が自由に夢を描けるまち　東大阪～
インタビュー・アンケート編



Ⅰ　子ども・若者当事者＆支援者インタビューについて



1. 実施期間　２０２５年１０月～２０２６年２月

2.インタビュー実施数

４４団体　２５６名（子ども・若者１６２名、保護者１２名、支援者８２名）

3.主な質問項目

当事者：東大阪市の魅力、休みの日に過ごす場所、
困ったときの相談先、あったら良いなと思うこと、
情報収集の方法、住み続けたい・住みたいと
思えるまちに必要なこと等
※高校生・大学生：進学や結婚、将来のこと



支援者：全国的なトレンドや支援するなかで感じる変化、
支援が上手くいった事例、つながりにくさ・支援のはざま、
あったら良いなと感じる支援や仕組み・サービス、
「若者・子育て世代に選ばれるまち」になるために必要な視点など

Ⅰ　子ども・若者当事者＆支援者インタビューについて

４.まとめ

東大阪市子ども・若者計画の対象となる子ども・若者当事者や保護者、支援者に直接意見を聞いて計画に反映することと「子ども・若者の意見を聞き施策に反映」するにあたって、市のモデルとなる取組みとして横展開することを目的に、市職員がインタビュアーとなり、実施しました。

インタビューを通じて、当事者はもちろん保護者、支援者のみなさまの声を聞くことができたことは、計画作成にあたって大きな影響を受けました。そこで、本計画における対象者を国や大阪府が定める子ども・若者だけでなく、その周囲で支える保護者や支援者を対象とすることや、インタビューで聞くことができた内容を計画本編にてコラムという形で記載しています。



5．インタビュー先一覧

No	インタビュー実施日	インタビュー先		インタビュー人数（人）	
				支援者（教員や相談員等）	子ども・若者子育て当事者
1	10月7日	バタフライプロジェクト（樟蔭×ノーサイド）	教員・学生		14
2	10月8日	QWRC（くおーく）	相談員	1	
3	10月23日	子育てサポーター	相談員	4	
4	10月24日	つどいの広場（コロボックル）	保育士・来館者	2	3
5	10月29日	楠根子育て支援センター	保育士・来館者	6	3
6	10月30日	石切子育て支援センター	保育士・来館者	1	3
7	11月11日	御厨保育所	保育士・子ども	3	15
8	11月12日	長瀬青少年センター	職員	4	
9	11月12日	irodori	スタッフ	1	
10	11月12日	義務教育学校池島学園（後期課程）	教員・生徒	3	4
11	11月12日	荒本青少年センター	職員	2	
12	11月14日	近畿大学　すすらんか	学生		2
13	11月14日	近畿大学　起業推進室	職員	2	
14	11月14日	若江中学校	教員・生徒	1	3
15	11月17日	孔舎衙こども園	保育士	2	
16	11月17日	布施小学校	教員・児童	2	6
17	11月18日	長瀬中学校	教員・生徒	2	4
18	11月18日	花園高校	教員・生徒	1	3
19	11月19日	花園北小学校	教員・児童	1	5
20	11月19日	en	スタッフ	1	
21	11月19日	布施高校	教員・生徒	2	2
22	11月20日	鴻池子育て支援センター	保育士・子ども・来館者	2	27
23	11月21日	日新高校	教員・生徒	2	5
24	11月25日	くるみ貝大阪	スタッフ	1	

5．インタビュー先一覧

No	インタビュー実施日	インタビュー先		インタビュー人数（人）	
				支援者（教員や相談員等）	子ども・若者子育て当事者
25	11月25日	くいだおれ祭り	スタッフ	1	
26	11月25日	縄手東小学校	児童		6
27	12月2日	東大阪商工会議所	職員	3	
28	12月3日	玉川小学校　留守家庭児童育成クラブ	児童		6
29	12月4日	就活ファクトリー	職員	2	
30	12月4日	こども食堂　ほんせんじ	スタッフ	1	
31	12月4日	近畿大学附属高校	教員・生徒	3	6
32	12月5日	ノーサイド	職員・利用者	5	1
33	12月8日	教育センター	教員	4	
34	12月9日	枚岡西小学校　留守家庭児童育成クラブ	児童		5
35	12月10日	高井田西小学校　留守家庭児童育成クラブ	児童・スタッフ	2	8
36	12月10日	子ども食堂　木の実キッズダイナー	スタッフ・子ども	4	10
37	12月12日	樟蔭中学校・高校　ダンス部	生徒		30
38	1月21日	大阪府立東大阪支援学校	教員	3	
39	1月22日	LGBTQ支援者交流会	スタッフ、他自治体職員等	ー	ー
40	1月22日	ひきこもり支援セミナー	若者・スタッフ	ー	ー
41	1月27日	大阪府立八尾支援学校	教員	3	
42	2月4日	八尾少年サポートセンター	警察官	2	
43	2月4日	保健所	保健師	1	
	2月5日	くるみ東大阪	若者・保護者	1	2
44	2月10日	いきいきネット相談支援センター	若者・支援者	1	1
			総数	82人	174人

① 保育所・子育て支援センター・つどいの広場

子ども
（５歳児）

小学校に行くのに楽しみなこと

・授業や給食が楽しみ!
・図書室に行きたい！
・休み時間に遊ぶことが楽しみ！
・遠足が楽しみ！

小学校に行くのに心配なこと

・友達ができるかな？
・漢字が書けるようになるかな？
・小学校に迷わず行けるかな？
・遅刻せずに行けるかな？
・テストで０点取ったらどうしよう？

将来の夢

生き物の研究者、アイドル
ママみたいなママ、電車の運転士
ケーキ・パン屋さん等、消防士、警察官、スポーツ選手、だんじりを引きたい、結婚したい

保護者

子育てしていて困ったこと

・妊産婦健診の助成券がややこしくて使いづらい。
・産後ケアの利用可能期間を延長してほしい。
・産後ケアを利用したいと思っても、宿泊の準備を考えるだけで断念してしまう。
・低年齢の子どもが遊べる施設が少ない。

あったら良いなと思うこと

・実際に園に通わせている保護者の話を聞ける機会が欲しい。
・教育センターが遠いので相談先が他にもあると良い。
・保護者が就労していなくても放課後も学校で過ごせる場所が欲しい。
・他市が実施している、おむつや粉ミルク、おしりふき等の定期便があると助かる。

支援者
（保育士・保健師等）

最近の変化

・育休を取得するパパが増えた。子どもを連れて遊びに来てくれるのはうれしい。
・SNS上の子育て情報に翻弄される保護者が増えている。
・親同士の横のつながりが薄くなりつつある。
（対面の関わりを避ける傾向がある。）
・生活リズムが崩れている子どもが増えた。
（夜遅くまで起きていて、日中居眠りするなど）

課題に感じること

・家に閉じこもりがちなお母さんをどう支援するか？
・外国籍の方が増えており、言葉の壁を感じる。
・「子育て支援センター」が「支援が必要な人が行くところ」と勘違いされ最初の来館につながりづらい。
・出産してからでは、いろんな情報を収集する余裕がない。（出産前が大切）
・小学校と円滑な連携をしたい。（園で過ごしている子どもの就学等）
・子育て中の保護者に予期せぬことが起きた際に、フォローできる仕組みづくり。

② 小学校・中学校

児童・生徒

自宅での過ごし方やあったら良い居場所

・自宅や友達の家、公園、図書館、ショッピングモール、ファストフード店
・自宅ではLINEでビデオ通話やゲーム、YouTubeを見ることが多い。

・近場の公園では野球ができない。
・遊べる場所が減っている。
・静かに勉強できる場所、友達と話しながら勉強できる場所や地域と交流できる場所があれば良い。

困ったときの相談相手

・家族（親）
・仲の良い友達

将来の夢

一級建築士、理学療法士、美容師、料理人、パティシエ、声優、イラストレーター、野球選手、ユーチューバー、司法書士、学校の先生、公務員、パイロット、IT企業に勤めたい、シャノの調教師、アニメグッズのデザインやイベント運営、音楽関係、安定が欲しい

教員

最近の子ども・保護者の変化

・家庭でのコミュニケーションが不足している。（不登校の一因？）
・休みに外で遊ぶ子どもが減った。放課後や休日も外遊びが減っているのではないか。

支援するうえでの難しさ

・マンパワーが足らず、十分に支援ができない。（子どもの夢を後押しする等）
・支援学級が必要と判断されても、保護者の合意がなかなか得られない。一方で、必要性が低いと判断されても、保護者の強い希望があるなど必要な支援につなげにくい。
・直接編入する外国籍の家庭が年々増えており、コミュニケーションが取りづらい。
・LGBTQの子どもをどのようにサポートするか。

あったら良いなと思うこと

・学校・地域間の連携を強めたい。教員だけでは人手が足りない。地域の人の手を借りて一緒にできる仕組みが欲しい。
・外国籍の子どもたちのために、東・中・西に１ヶ所ずつ日本語教育に注力できる場所があると良い。
・ふれあいルーム（不登校支援）が複数箇所にあれば良い。

③ 高校・大学

学生

放課後や休日の居場所

図書館、ショッピングモール、
カフェ、バイト、塾

悩みやその相談先

・人間関係や勉強、進路
（１人になることが怖い）
・進学にかかる学費が心配
・相談は親や仲の良い友達

就職や結婚

【就職】・（高校生）就職のイメージがわかない。
・（高校生）夢を持っている同級生が少ない。やりたいことが明確にない人が多い。
・（大学生）同級生は、就職にあたり、都市部かどうか、給料の良さ、企業のネームバリューを重視する傾向にある。
【結婚】・ウェディングドレスに憧れがある。
・一人の方が気楽。結婚したら自由が制限されそう。
・結婚はいつかはしたいと思うが、姓が変わるのが大変そう。
【子育て】・一回り歳の離れた妹がいてお世話をするのが大変だった。周りにサポートしてくれる人がいれば、子どもがいても良いなと思う。
・夫婦仲が続けられるのか不安である。長続きさせるために子どもはいらないとも思う。
・東大阪市の子育てのサポートは充実している印象がある。

教員

最近の学生・保護者の変化

・どう思われているかを強く意識する学生が増えた。自分の発言は気にしないが、相手の発言には非常に敏感。
・自己肯定感が低く、対面のコミュニケーション下手な学生が多い。また、SNSによる人間関係のトラブルが急増している。
・起立性調節障害と診断される学生が増えている。
・進路選択の際は、「やりたいこと」ではなく、「今の学力で行けるところ」を重視している。
・保護者は良くも悪くも過保護。自分で決定・解決できる学生が減ったように感じる。

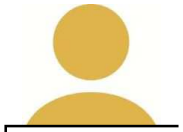
必要な支援

・奨学金支援を充実させてほしい。
・部活動以外の他校、大学生や若い社会人との交流機会が欲しい。
・起業したい学生のために、場所を提供してほしい。

若者に選ばれるまちに必要なこと

・子育てしやすい環境づくり（保育所や歩道の整備、ボール遊びできる公園、街灯を増やす等）
・新築マンション等を購入するための補助金

④ 居場所（青少年センター・留守家庭児童育成クラブ・子ども食堂・イベントを行う地域団体）



子ども

放課後・休日の過ごし方

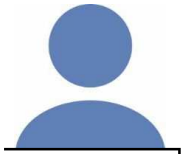
・公園やゲームセンター、友達の家で遊ぶ、習い事に行く。
・自宅でYouTubeかゲーム
※外出中に子ども110番のステッカーが貼ってある家を見ると安心する。

困りごと

・同級生との関わり方
・自宅から学校まで距離があり、通学に負担を感じている。

将来の夢

医者、アイドル、スイーツ屋、ジュース屋、植物屋、先生、スポーツ選手、ユーチューバー、看護師、イラストレーター、テーマパークのキャスト、宝くじを当てたい、長生きしたい



支援者

最近の子ども・保護者の変化

・抱える悩みを打ち明けられない子どもが多い。打ち明けられないまま、ネット情報に頼り、考えが凝り固まってしまう。
・リーダーシップの取れる子が減っている。自発性に乏しい子どもが増えた。
・スマホやパソコン、ゲームに熱中している子どもが多い。寝る時間が遅い。偏食の子どもも増えたと感じる。
・特定の職業に就きたいと考える子どもが減った。目標や夢を持てない子どもが多い。
・余裕がない保護者が多い。子どもの様子をしっかり把握できていない。
・世代を超えたコミュニティが少ない。核家族化・地域とのつながりが希薄で孤立している親が増えていると同時に、子どもの相談先も減っている。先生でもなく、親でもない大人との関わりが少なくなっている。

必要な支援・場所

・子どものために何かをしたいと思う高齢者を募れる仕組みがあると良い。若いうちから多世代交流できる機会が必要である。
・子どもや若者が得意なこと、興味があることを披露する場所があると良い。（音楽など）
・子どもたちに金融教育が必要である。
・市外から縁もゆかりもなく転入してきた家庭の居場所があると良い。
・貧困から抜け出すには学力が必要である。寺子屋的な取り組みにも補助金制度があると良い。

⑤ ひきこもり・不登校

若者

普段感じていること

・外出自体が億劫に感じてしまう。
・新しい環境に身を置くことが難しい。緊張してしまい一歩が踏み出せない。
・楽しみは月１回のボードゲーム人会である（eスポーツ）。
・自宅とくるみ東人阪以外で安心して過ごせる場所がない。
・自立できれば良いと思うが、何から始めたら良いか分からない。

気持ちの変化（過去ひきこもりの経験があった方）

・たくさんの人との出会いと経験から、感謝の気持ちが持てるようになった。
・「これだけの人に支えられてきたから大丈夫」が今の原動力である。
・「ひきこもっていたからこそ、今がある」と率直に思える。

家族

自身の経験から感じること

・ひきこもりのタイミングは突然訪れる。娘を見ていて感じるのは、まじめな人ほどひきこもりになりやすい。
・親子でも家族でもお互いに分からないことはたくさんある。相手の生き方をリスペクトすることが大切である。
・家族会に出会うまでは、「子どもとちゃんと向き合えていなかったのでは。」と後悔ばかりで、「私が何とかしないと。」と自身を追い込んでいた。
・スクールカウンセラー等相談窓口はあるものの、まわりの目が気になって相談できなかった。気軽に話ができる環境があればよかった。

支援者

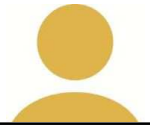
最近の子ども・若者の変化

・不登校やひきこもりの理由は複合的であり一筋縄ではいかない。中学生以上はより顕著である。
・周りに気を使いすぎている子どもや若者が増えた。「自分をもっと表現していいよ」と周りからの後押しが必要である。
・夢や目標を持っている子ども・若者は少数である。現状と向き合うことで精一杯な様子である。
・「ひきこもりは自己責任」という考えが根強く残っており、本人やその家族は誰にも相談できず、孤立しているケースが多い。
ひきこもりは地域全体の課題、社会全体の課題だと思っている。

必要な支援・サービス、あったら良いなと思うこと

・アクセス面で教育センターに通えない児童・生徒がいる。送迎の支援や教育センターの分室ができると良い。
・不登校やひきこもり当事者への支援だけでなく、保護者のケア・フォローが必要である。親同士のつながりの場が大切だと思う。
・本人やその家族を孤立させないように、地域資源や地域の理解者との出会いの場・機会づくりが必要である。「支援する人と支援される人」ではなく、お互いの生き方を尊重しながら「一緒に生きる」ことが何より重要である。

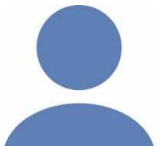
⑥ 障害（児）者



子ども・若者

あったら良いなと思うもの・こと

・障害のあり・なしに関わらず、子どもや保護者、若者が集える場所やイベントが増えると良い。
・車いす用のトイレが増えると安心である。出かける際は事前に下調べしている。
・車いすも通りやすい通路幅の広いショッピングモールがあると良い。



支援者

最近の子ども・若者の変化

・制度が充実してきたため、支援学校の生徒の進学先や就職先が多様化している。
・障害福祉サービスに関しては、共働き家庭が増え、１人あたりの１日の利用希望時間が長くなった。様々な福祉事業所ができたことで、目的にあわせて上手く併用される方が増えている。

必要な支援・サービス、あったら良いなと思うこと

・子どもより大人の方が、障害への理解が乏しい。子どもたちは本当にかわいい。（支援学校の教員として思うのは）　障害のある子どもと地域がつながれる機会があると良い。
・障害のある人を家族で見ることが当たり前となっている。もっと地域全体でサポートできる仕組みができればよいと思う。
・社会として、障害の有無などすべて白黒つける必要はないと思う。グレーがあっても良いはず。受容できる社会となってほしい。

⑦ LGBTQ



支援者

最近の子ども・若者・保護者の変化

・親子で一緒に相談に来られるケースが増えた。10年前は考えられなかった。
・LINE相談の50%は10代～20代前半である。若年世代のニーズは高い。

必要な視点やあったら良いなと思うこと

・就学前から自分の性に違和感を持つ子どしがいる。低年齢からの周知・啓発が大切である。例えば、制服の採寸でし男子、女子でなくタイプAとかタイプBなどの配慮や事業者への意識づけが必要である。
・LGBTQの子どもは、学校生活に困難を抱えやすく、不登校につながるケースもある。学校内外に安心できる居場所が必要である。
・同性カップルの場合、周りの目が気になってプレママ・プレパパ教室に参加しづらいとの声がある。
・同性カップルの場合、各種手続きがほとんどできない。病院や住宅など、行政から後押ししてほしい。

⑧ 就労（就活ファクトリー・商工会議所）



支援者

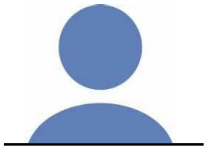
最近の若者の様子

・終身雇用的な発想がなくなってきている。転職のハードルもかなり下がっている。帰属意識が低い。
・採用側としては、慣れてきたと思ったらすぐに辞めてしまうので困っている。
・新入社員研修で聞くと、やりたい仕事がないから、あるいはゆくゆく起業したいので一旦働いている若者が多い印象である。
・電話応対やビジネスメールの返信が苦手な若者が多い印象である。

必要な支援・取り組み

・市内の就職者を増やすべく、中小企業のイメージアップが大事である。
・働くことによって身につくスキル、自分が行ったことが、最終的にどう社会に役立つかが見えるようにする必要がある。
・若者への周知に苦戦している。若者が集まる場・機会があれば、コラボしていきたい。

⑨ 警察（八尾少年サポートセンター）



警察官

最近の保護者や家庭の様子

・非行や問題行動の背景には、家庭環境が大きく影響しているケースが多い。保護者が生活や就労等により、時間的・心理的・経済的な余裕を持てず、十分に子どもと向き合えていない状況がみられる。学校に責任を転嫁する保護者もいる。
・そもそも子どもとどう関わって良いか分からない保護者も多い。保護者への支援・指導が事前の抑止につながる。
・中学生年代で非行事案が急増している。また、SNS・ネットトラブルも多く、性的事案も増えている。居場所も大事だが、たまり場となりトラブル化することもあり、注意が必要である。

必要な支援、あったら良いなと思うこと

・子どもへの支援はもちろんだが、問題が顕在化する前から子どもとの関わり方やSOSの受け止め方を伝える等、保護者への働きかけや支援が不可欠。
・子どもや若者の居場所には、安心して過ごせる環境とあわせて、大人の見守りや適切なルールが必要である。


子どもファースト
Higashiosaka
#子どもファースト　＃東大阪市


子どもファースト
Higashiosaka


子どもファースト
Higashiosaka
#子どもファースト　＃東大阪市
若者・子育て世代に選ばれるまち
東大阪


子どもファースト
Higashiosaka
#子どもファースト　＃東大阪市
若者・子育て世代に選ばれるまち
東大阪


子どもファースト
Higashiosaka
#子どもファースト　＃東大阪市
若者・子育て世代に選ばれるまち


子どもファースト
Higashiosaka
#子どもファースト　＃東大阪市
若者・子育て世代に選ばれるまち

2 子ども・若者計画策定にあたってのアンケート

1．アンケートの実施について

「夢」に関するアンケート（回答数：3,847件）

▼実施方法（内訳）

●市内イベントの来場者　765件

2025年10月11日　マスターズ花園	140件
2025年11月9日　待ち合わせは市役所で	271件
2025年11月15日　こーばへ行こう！	13件
2025年12月9日　ナウルパビリオン（石切参道商店街）オープニングイベント	291件
2026年1月12日　二十歳の記念式典	50件

●対面インタビュー　約40団体309件

当事者（2025年10月～12月）	281件
支援者（2025年10月～12月）	28件

●ラウンドテーブル参加者（2025年10月）　38件

●LINE（2025年11月～12月実施）　2,735件

「結婚」に関するアンケート（回答数：125件）

●対象：高校生・大学生

●方法：WEBアンケートを実施

●期間：2025年10月～12月

「定住」に関するアンケート（回答数：125件）

●対象：令和7年度二十歳の方

●方法：WEBアンケート（50件）
　　対面（75件）

●期間：2025年12月～2026年1月

2　子ども・若者計画策定にあたってのアンケート（まとめ）

2．主なアンケートの項目

「夢」に関するアンケート：**夢の有無や内容、「子ども・若者が夢を叶えられるまちづくり」として興味があるもの**
「結婚」に関するアンケート：**将来の結婚、結婚後のライフスタイル、同性婚に対する考え方**
「定住」に関するアンケート：**東大阪市のイメージ、今後住みたい場所、東大阪市にあれば良いと思うもの**

3.まとめ

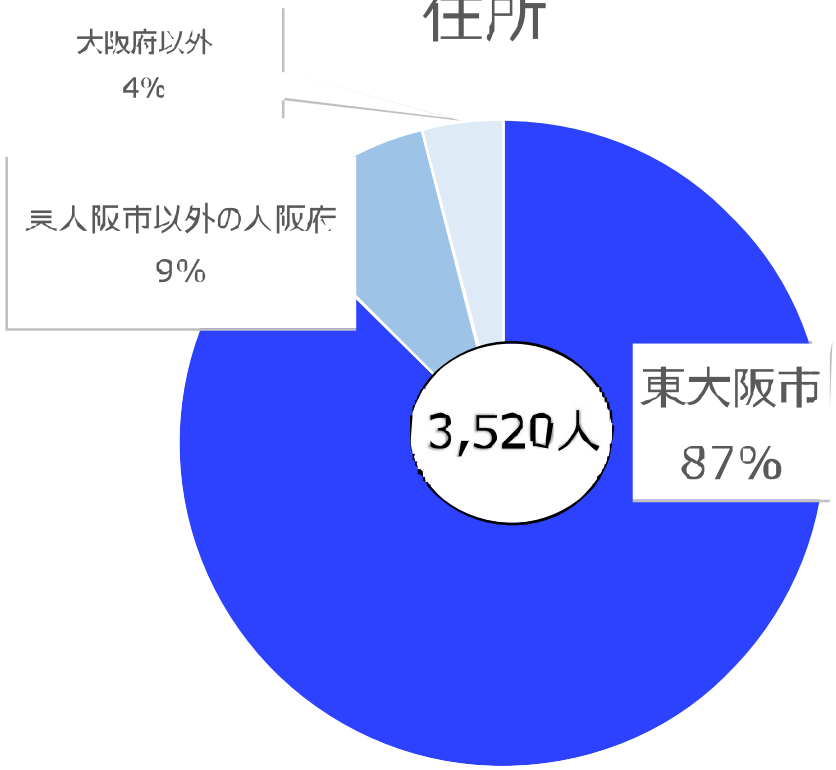
「夢」に関するアンケートでは、子ども・大人ともに約5割が「夢がある」と回答しています。しかしながら、本計画の策定にあたり設置した審議会では、イベント等に参加できる層は、比較的家庭環境や生活状況が安定している可能性があり、「実態としては、夢をもてている割合はもう少し低いのではないか」との意見がありました。こうした状況を踏まえ、本計画ではその第一歩として「子ども・若者が自由に夢を描けるまち」をテーマに掲げることとし、夢に関するアンケートを行いながら、夢を持つ→夢を応援する→夢を叶えるとステップアップしていきたいと考えています。

次に、「結婚」に関するアンケートについては、地方創生ラウンドテーブルの場でも広く意見を募りましたが、議論として深まりにくく、今回は高校生・大学生を対象にWEBでのアンケートを実施しました。今後は、広く効果的に調査を行う手法を検討し、有効な施策構築につなげていく必要があります。また、若者は将来住むところについて慎重に判断することがわかり、「安心して暮らせる環境」や「自分らしく過ごせる居場所の存在」が定住促進の重要な要素となることがわかりました。今後は、夢を描ける環境とあわせて、安心とつながりを実感できるまちづくりを推進していく必要があります。

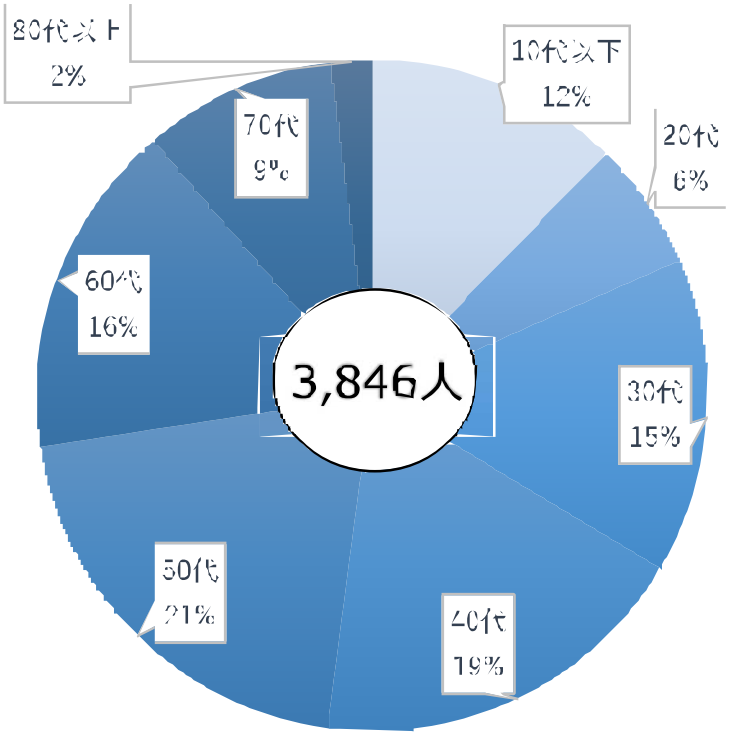
「夢」に関するアンケート結果（住所・年代）

アンケート総数の**約9割が東大阪市内在住**ですが、市内で開催されたイベントに特化すると、**約5割は市外在住**です。また、年齢の内訳としては**40代～60代**が半数を占めており、**20代～30代**は**約2割**という結果です。

住所



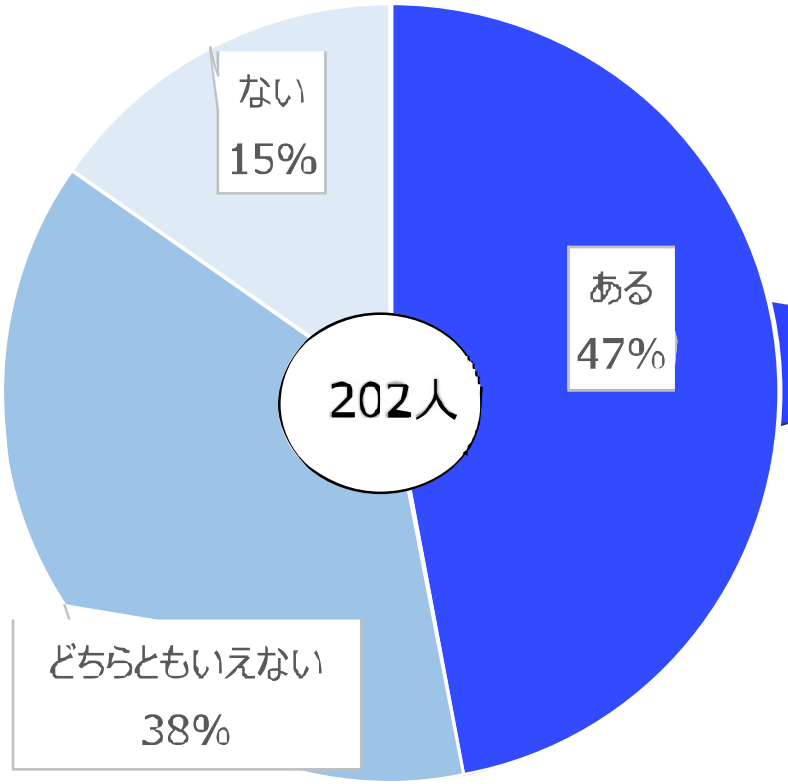
年代



※住所の詳細が一部確認できていないため、住所と年代回答数に差異が生じています。

「夢」に関するアンケート結果（「将来の夢や目標」 対象：中学生まで）

「将来の夢や目標がありますか」と中学生までを対象に質問したところ、**約5割**が「**ある**」と回答し、その夢や目標は、**具体的な職業**が多くを占めました。



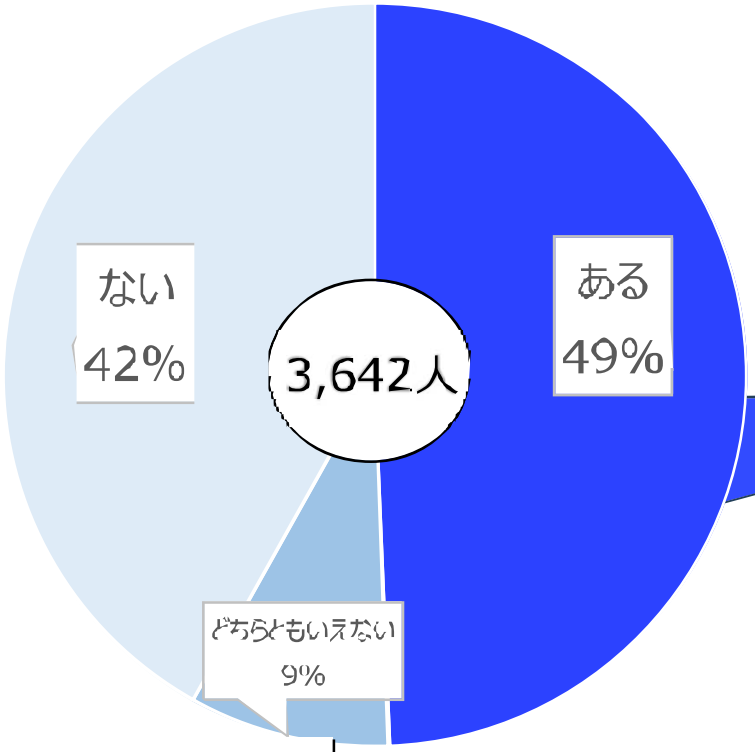
主な内容

●職業：スポーツ選手、医者、保育関係の仕事、お花屋さん、建築家

●その他：お姫さま、一軒家を建てたい人の役に立ちたい

「夢」に関するアンケート結果（「あなたは今、夢や目標がありますか？」対象：高校生以上）

「今は夢や目標がありますか」と高校生以上を対象に質問したところ、**約5割**が**「ある」**と回答し、その夢や目標は「健康・長生き」「幸せな暮らし」「世界一周」「推し活」など、生き方・感情・状態や娯楽的な回答でした。

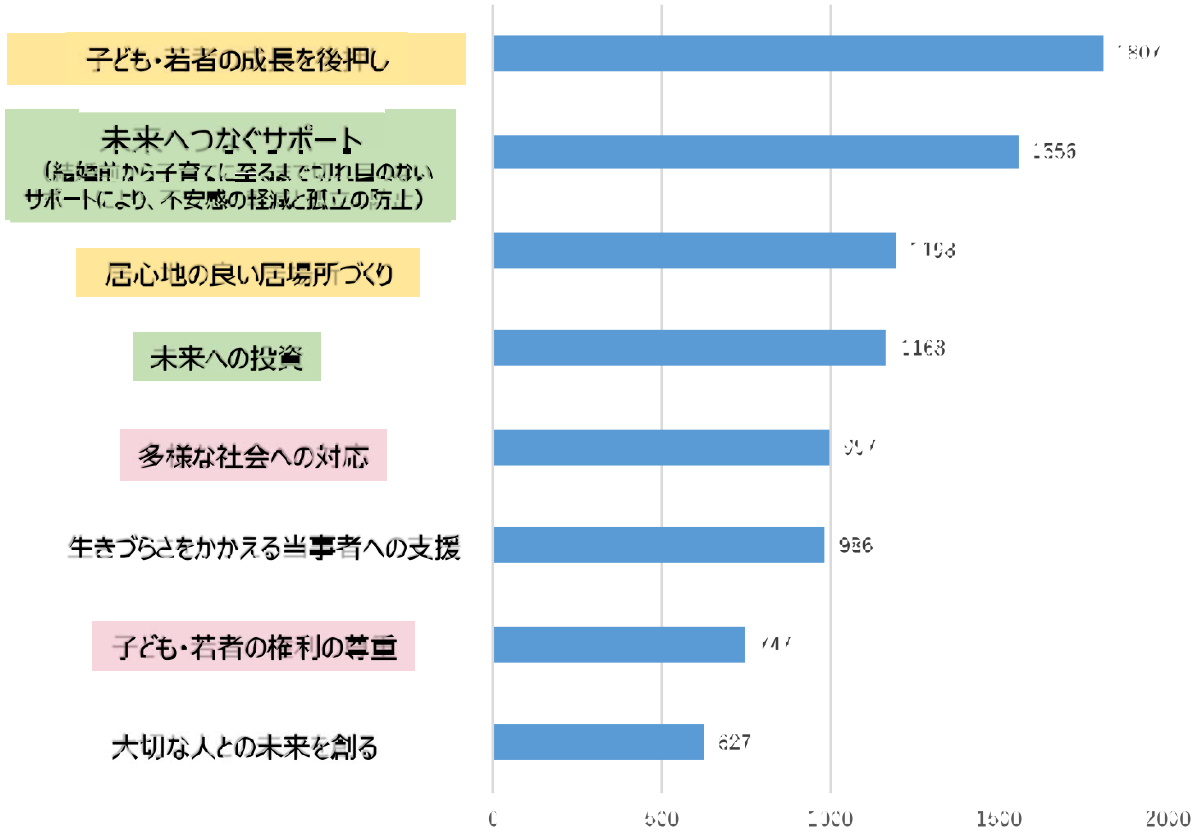


主な内容

- 健康・長生き・心身の充実
- 家族・子どもの幸せな暮らし
- 旅行・世界一周・移住
- 起業・独立・キャリア
- スポーツ
- 社会・地域貢献
- 趣味・推し活

※LINEアンケートでは選択肢が「ある」と「ない」の2択で実施した。

「夢」に関するアンケート結果（「子ども・若者が夢を叶えるまちづくり」を推進するにあたって興味があるものは？」）
対象：全世代

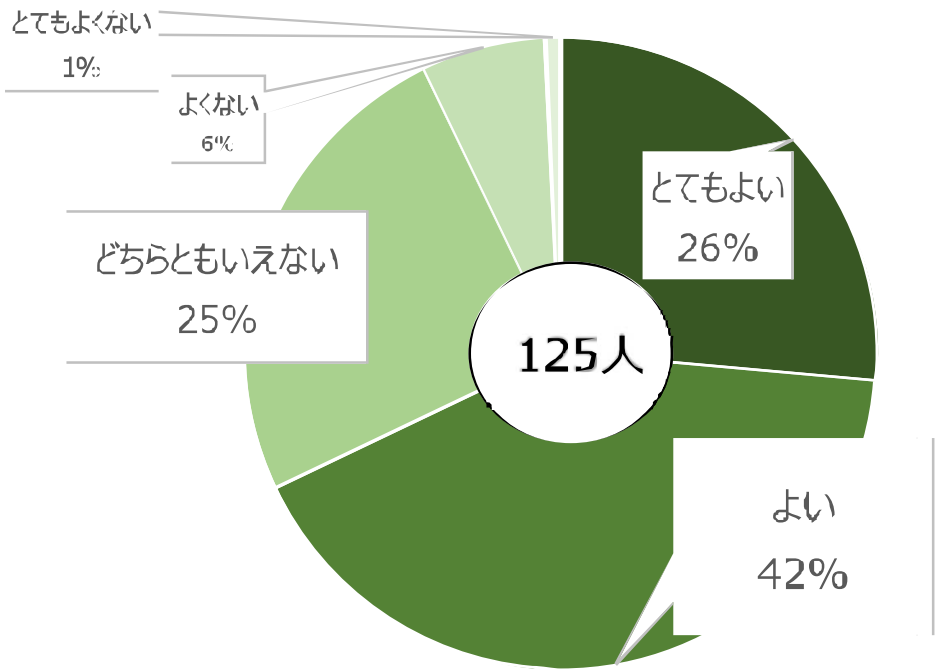


すべての調査方法で「子ども・若者の成長を後押し」と「居心地の良い居場所づくり」は上位にライクインしました。
LINEによるアンケートでは「未来へつなぐサポート」「未来への投資」といった制度の充実や経済的な支援の声が多く集まりました。イベント時のアンケートでは「子ども・若者の権利の尊重」「多様な社会への対応」といった項目に関心が高い傾向となりました。

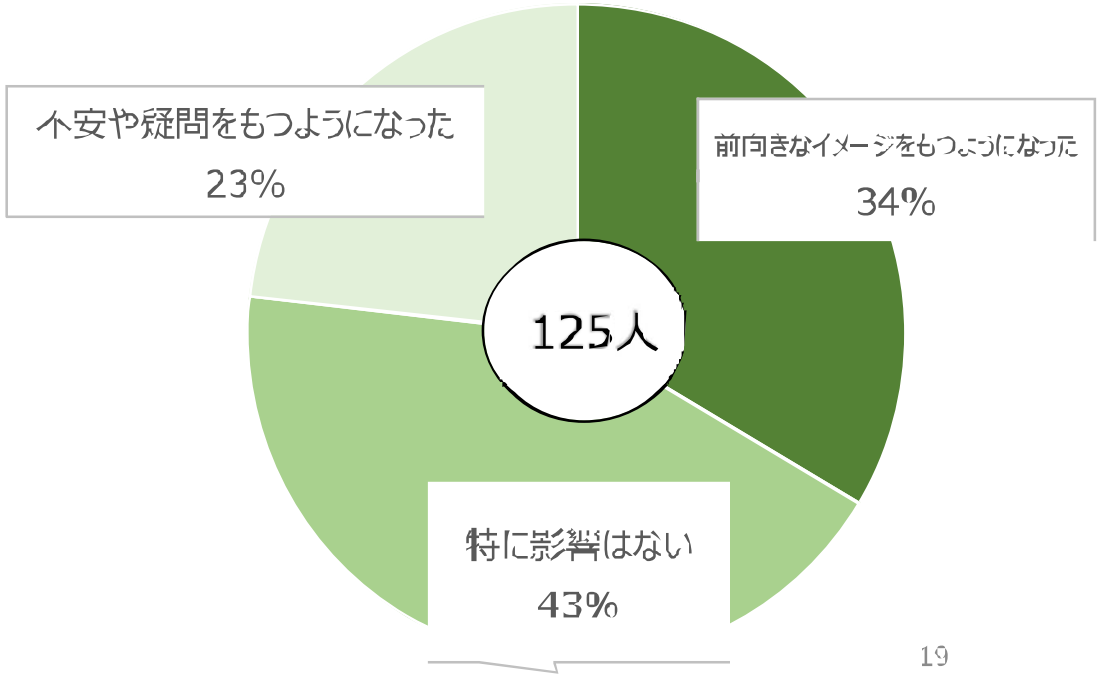
「結婚」に関するアンケート結果(結婚のイメージ・周囲からの影響)　対象：高校生・大学生

『結婚』に前向きなイメージをもっている人は**約6割**でした。また、周囲が与える結婚への影響を質問したところ、「**特に影響はない**」という回答が**約4割**でした。

あなたが思う結婚のイメージは？



あなたの周囲(家族・学校・メディアなど）は、
結婚についてどのような影響を与えていますか？

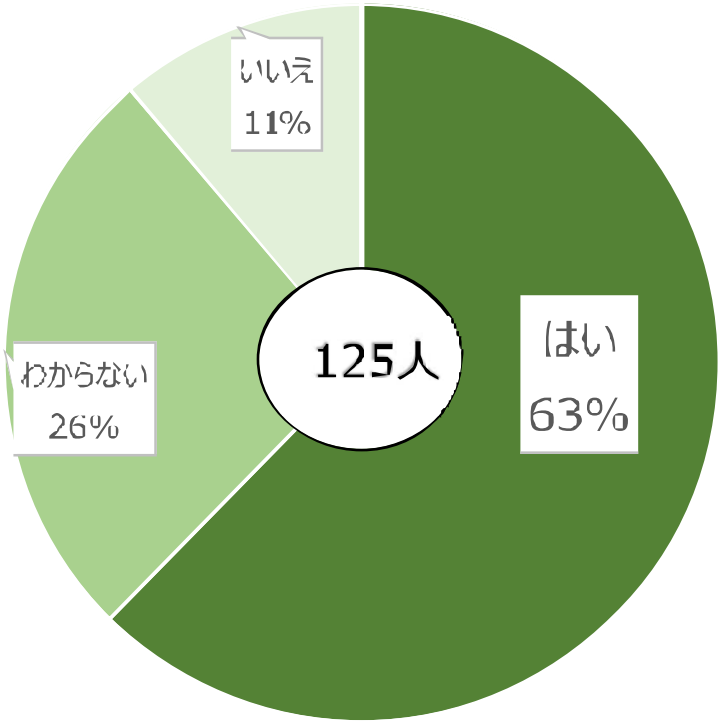


「結婚」に関するアンケート結果（結婚への意欲）

対象：高校生・大学生

結婚したいと考えている人が**約6割**で、一方、**自由や将来への不安**から「いいえ」や「わからない」と回答した人が約4割でした。

あなたは将来結婚したいですか？



「はい」と答えた人の理由

- 好きな人といっしょに暮らしたい
- 子どもを育てたい
- 安定した生活がしたい

「わからない」「いいえ」と答えた人の理由

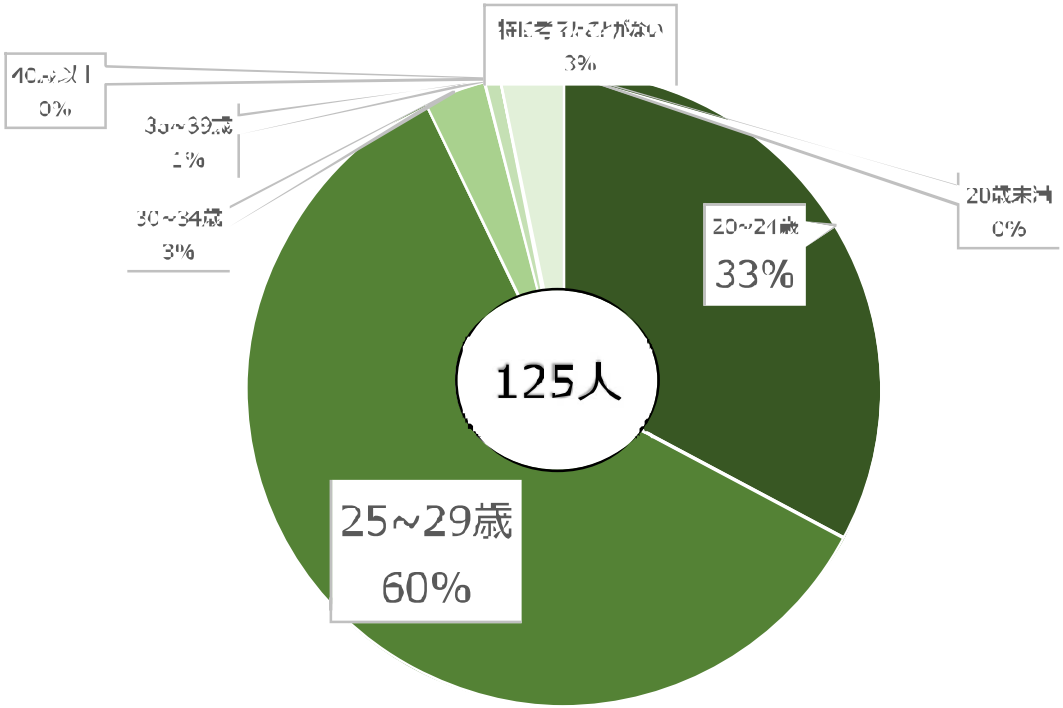
- 自由がなくなる気がする
- 結婚に魅力を感じない
- その他

「結婚」に関するアンケート結果（理想の結婚年齢・結婚相手に求める条件）

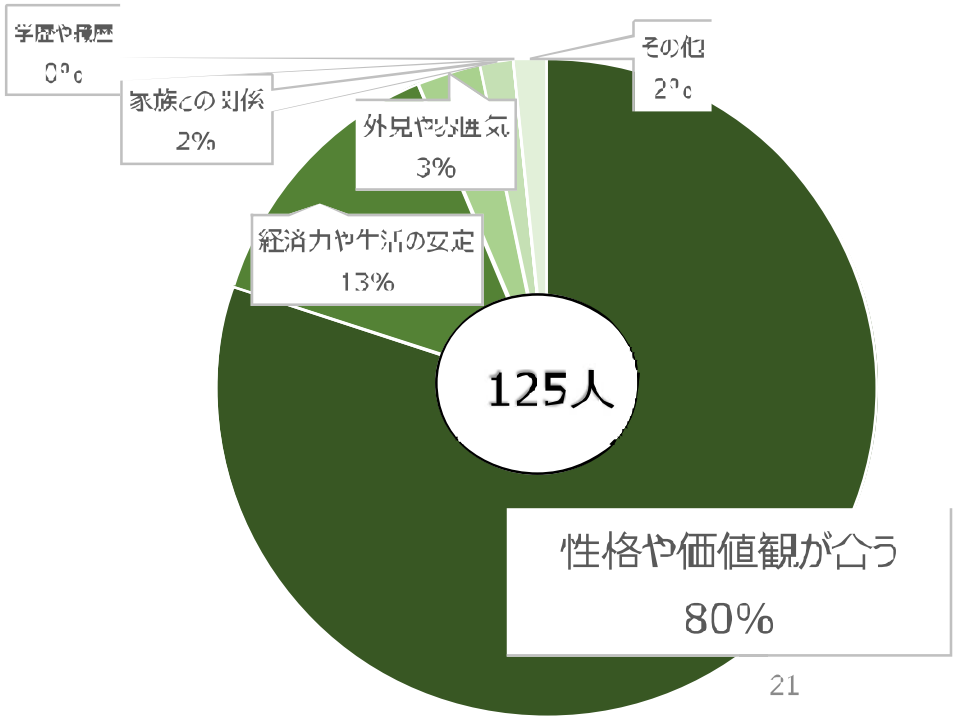
対象：高校生・大学生

理想の結婚年齢を**20代**と回答した人が**約9割**でした。
また、結婚相手に求める条件で大切なものは「**性格や価値観が合う**」と回答した人が**8割**、次に「**経済力や生活の安定**」と回答した人が**約1割**でした。

理想の結婚年齢は何歳くらいだと思いますか？



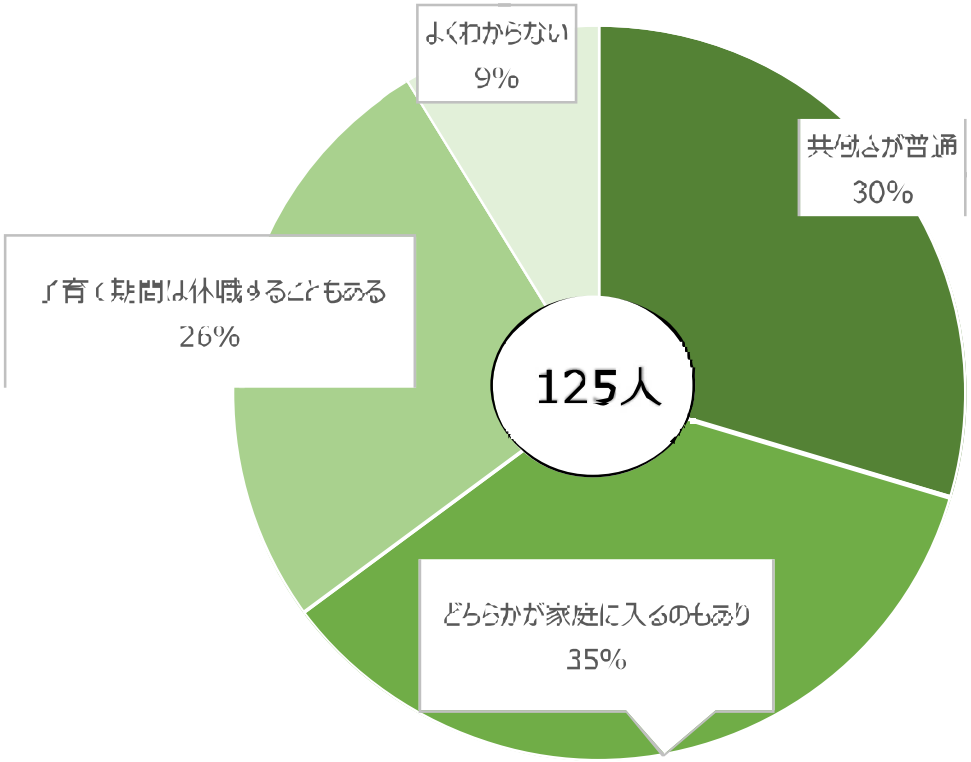
結婚相手に求める条件で大切なものは？



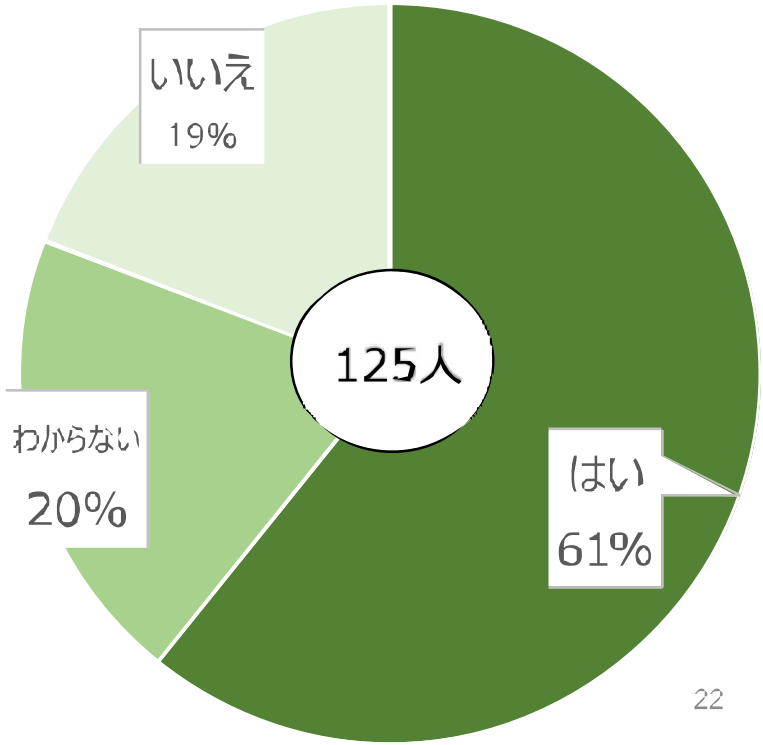
「結婚」に関するアンケート結果（結婚後の働き方・結婚と恋愛の違い）対象：高校生・大学生

結婚後の働き方として「共働き」「家庭に入る」「子育て期は休む」など、ライフステージに合わせて柔軟に考えている人が多いです。また、結婚と恋愛は違い、異なるものとして捉えている人が多いです。

結婚後の働き方について、どのようなイメージもっていますか？



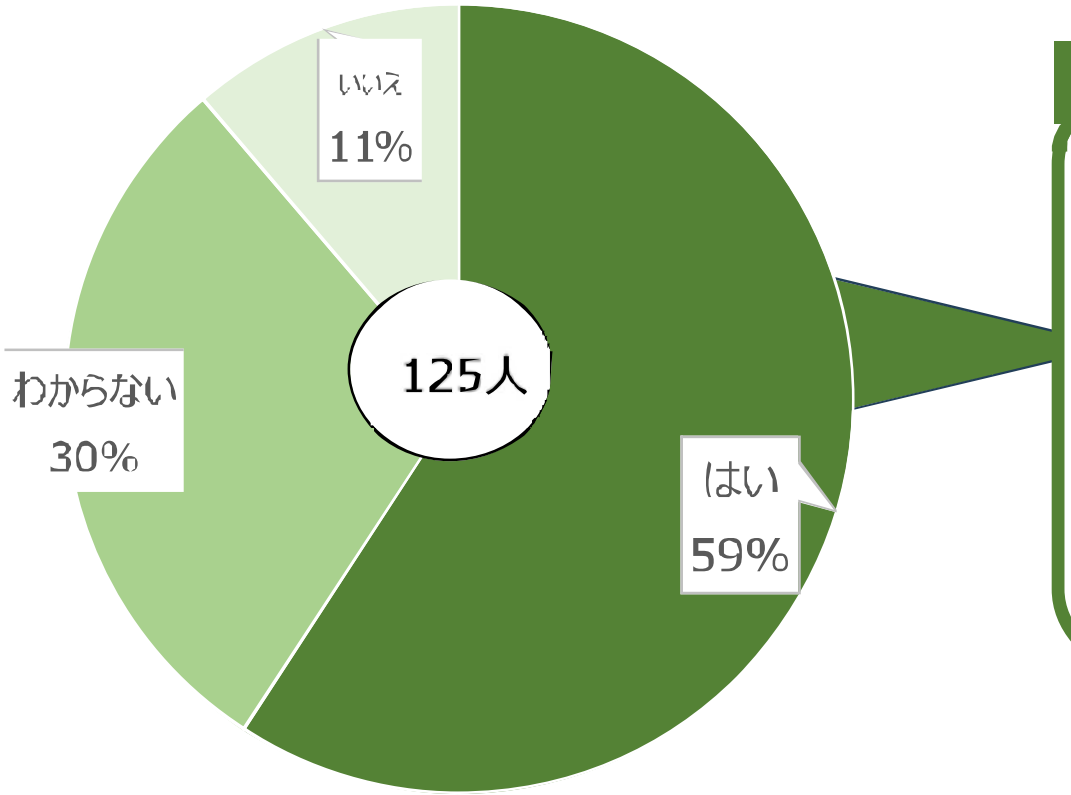
結婚と恋愛は別だと思いますか？



「結婚」に関するアンケート結果（子育てへの希望）

対象：高校生・大学生

結婚後に子どもが欲しいと考えている人は**約6割**であり、「いいえ・わからない」と回答した人が**約4割**でした。
また、人数は「2人」が**約6割**ともっとも多く、次に「3人」と回答した人が**約3割**でした。



何人くらい子どもは欲しいですか？

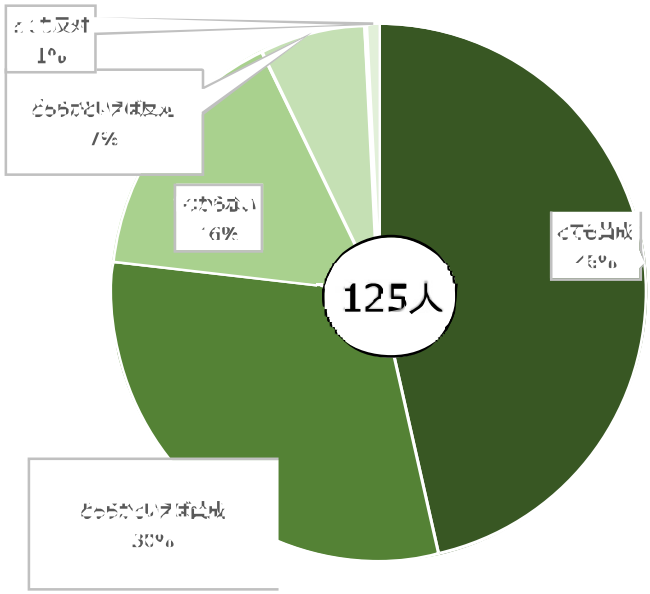
- 2人（60%）
- 3人（29%）
- 1人（10%）
- 5人以上（1%）

「結婚」に関するアンケート結果（同性婚や性の多様性について学ぶ機会）

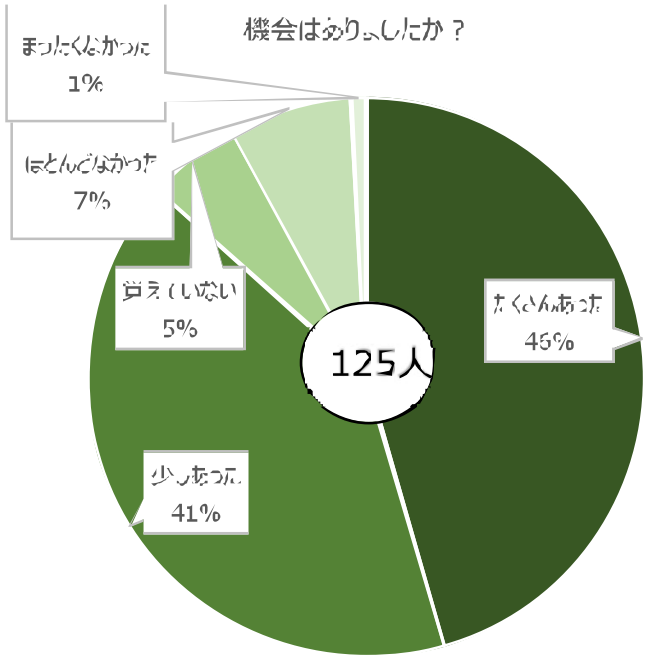
対象：高校生・大学生

同性婚に対して「賛成」と回答した人が**約8割**で、同性婚や性の多様性を学ぶ機会があったと回答した人は**約8割**でした。また、同性婚が法的に認められることは社会にとってどのような影響があるかという質問に対して**「多様性の尊重につながる」**と回答した人が最も多かったです。

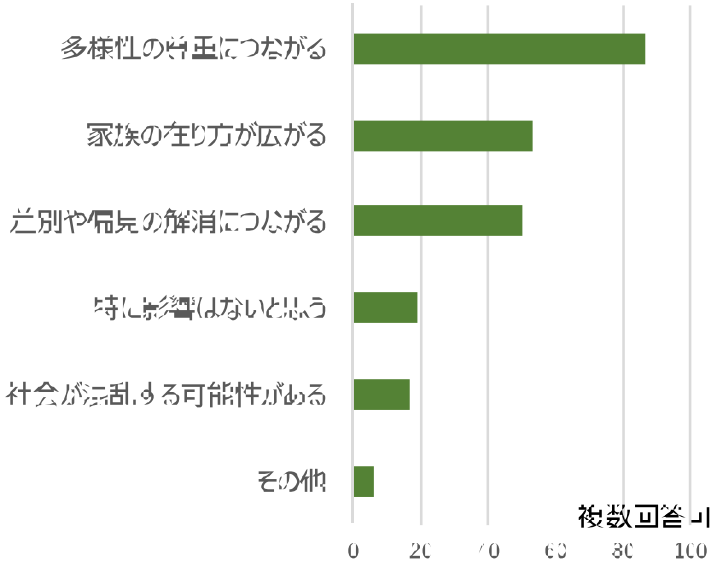
同性婚についてどう思いますか？



学校や地域で、同性婚や性の多様性について学ぶ機会はありましたか？



同性婚が法的に認められることは社会にとってどのような影響があると思いますか？

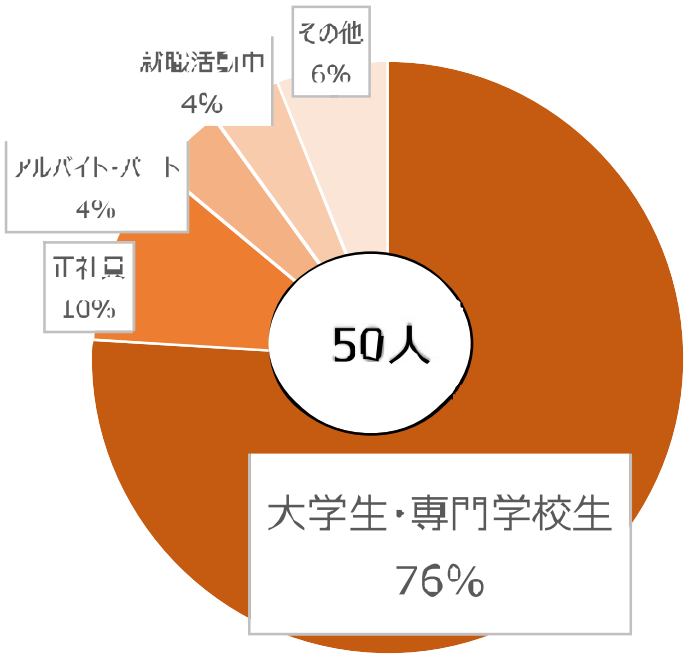


「定住」に関するアンケート結果（現在の状況・東大阪市で過ごした期間）

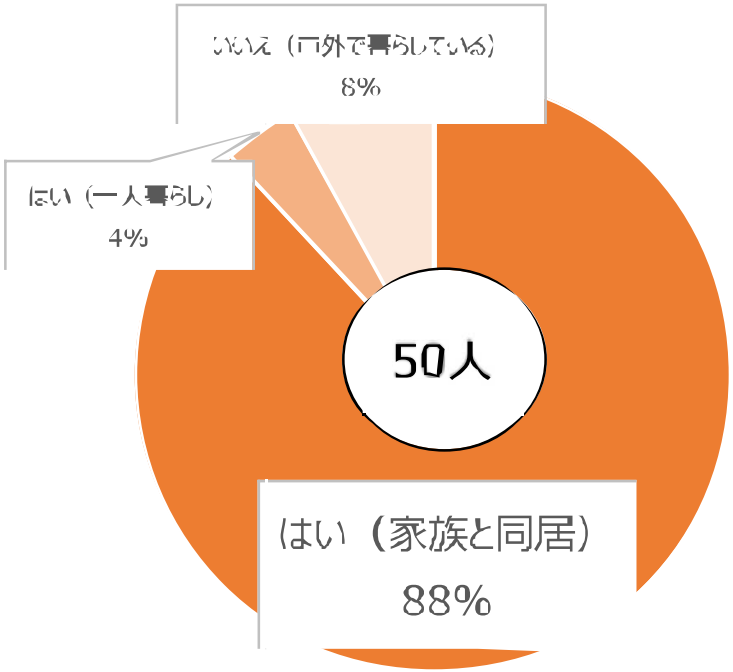
対象：令和7年度二十歳の方

回答者の**約8割**が**大学生・専門学校生**で、現在も**東大阪市内で家族と同居**している人が**約9割**でした。

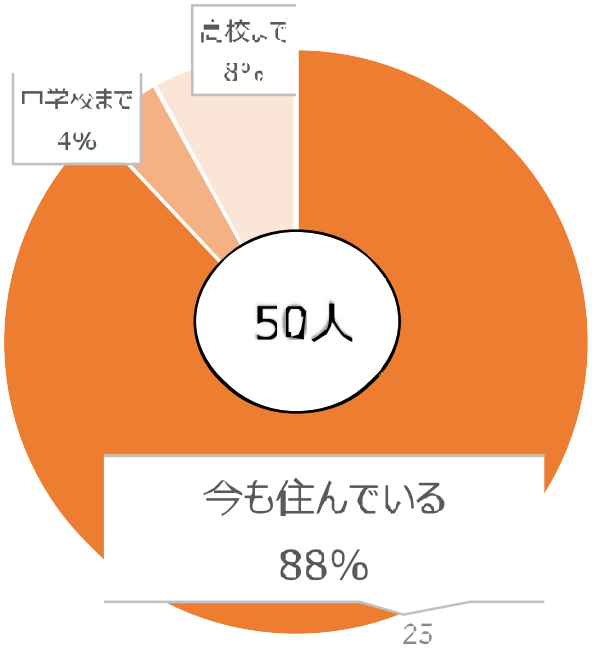
現在の状況を教えてください



現在、東大阪市に住んでいますか？



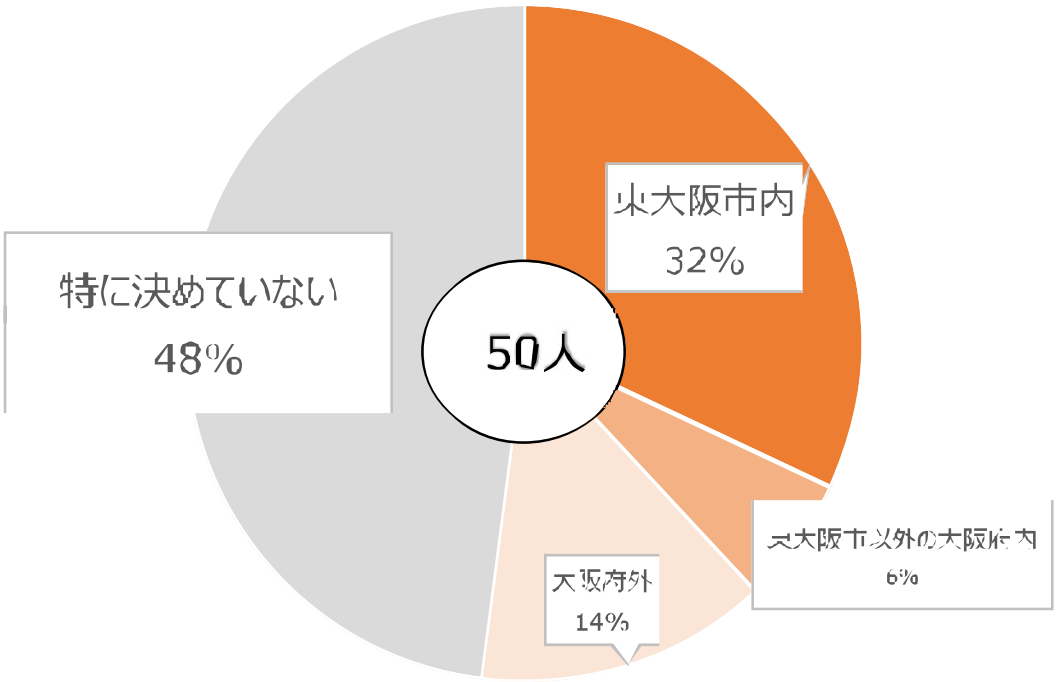
東大阪市で過ごした期間を教えてください



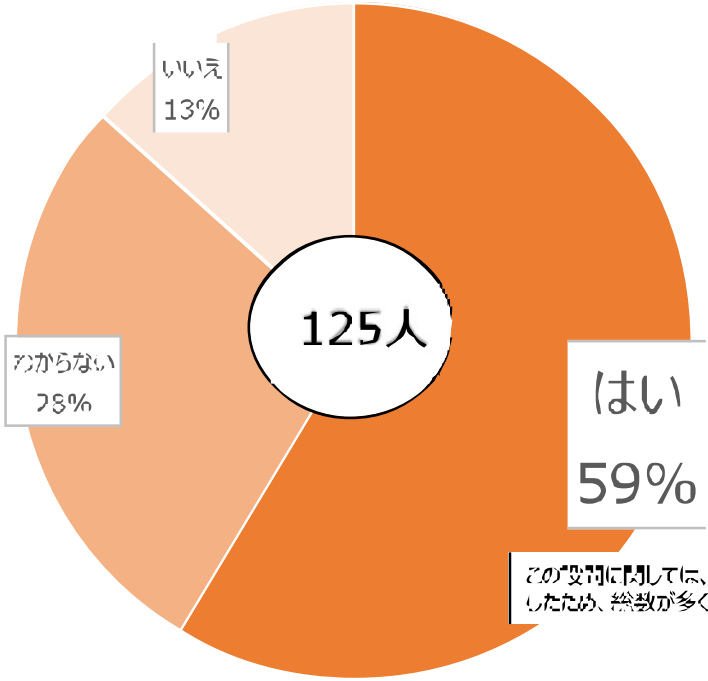
「定住」に関するアンケート結果
（今後どこで暮らしたいか・将来、東大阪市に住み続けたい 戻りたいか？）
対象：令和7年度二十歳の方

今後どこで暮らしたいかという質問に対し**東大阪市内で暮らしたい**と回答した人が**約3割**でした。一方、将来東大阪市に住み続けたいと回答している人は**約6割**で、前者と比較して**約2倍**でした。

今後、どこで暮らしたいと考えていますか



将来、東大阪市に住み続けたい 戻りたいと思いますか？



この設問に関しては、対面でも調査したため、総数が多くなっています

「定住」に関するアンケート結果（東大阪市のよいところ・改善してほしいところ）

対象：令和7年度二十歳の方

東大阪市のよいところは「**アクセスの良さ・安心感**」が中心で、改善してほしいところは「**治安や将来への不安、まちのイメージ**」が中心です。

東大阪市のよいところ

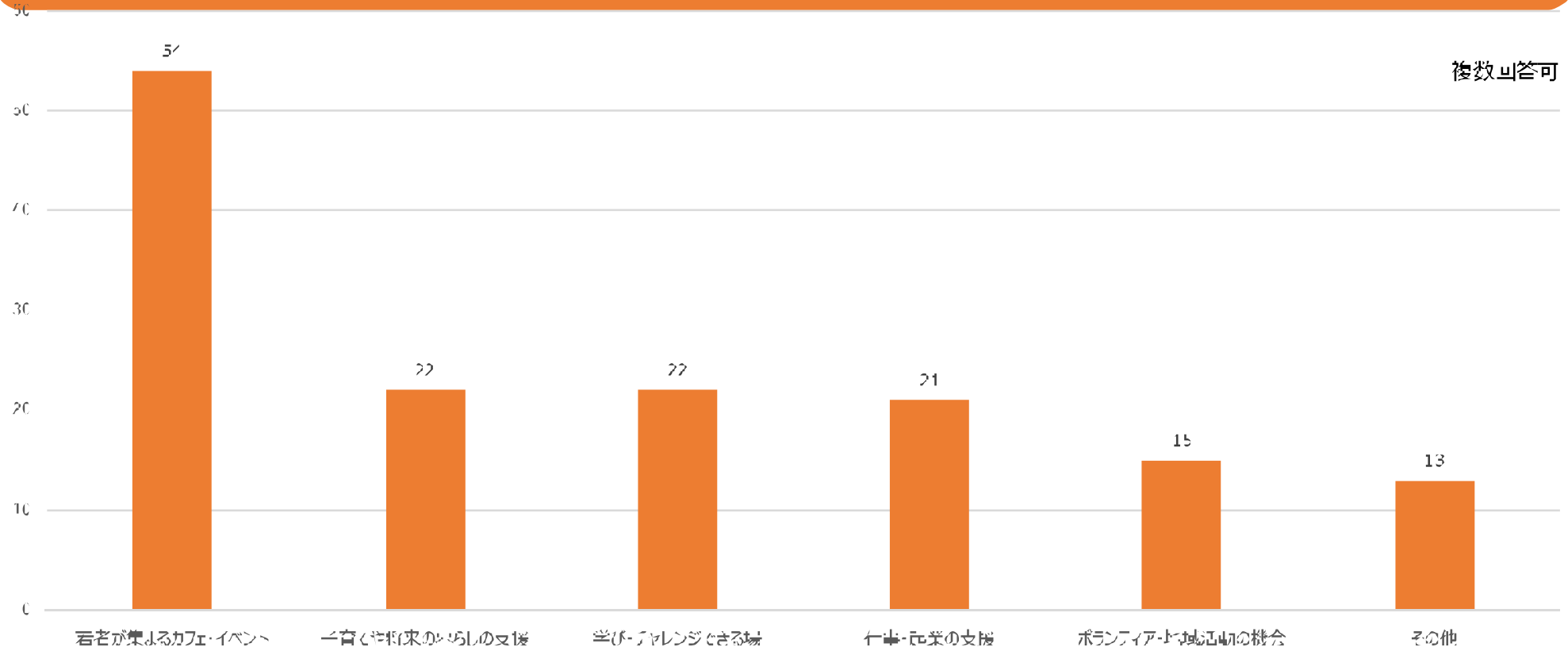
- ●アクセス・立地が良い
  - ・大阪市内に近い、難波に行きやすい
- ●暮らしやすい・安心感
  - ・何不自由なく暮らせる、住み心地が良い
- ●愛着・人とのつながり
  - ・両親がいるので住み続けたい、思い入れがある
- ●自然がある
  - ・公園や緑地が点在しており、将来家庭を持ったときに良い

東大阪市の改善してほしいところ

- ●地域のイメージがよくない（治安など）
  - ・夜遅くに一人で出歩くと不安、治安が悪い
  - ・東大阪というと良いイメージをもたれない
- ●将来の展望・ライフプラン
  - ・将来は東京で仕事をしたい
  - ・地元にこだわらずグローバルに活躍したい
- ●魅力が弱い・ない
  - ・総合的に考えてあまり魅力を感じない

「定住」に関するアンケート結果　（東大阪市にもっとあれば良いと思うもの）

「若者が集まるカフェ・イベント」と回答した人が**最も多く**、次に「**子育てや将来の暮らしの支援**」、子ども・若者が挑戦できる取組みへの支援である「**学び・チャレンジできる場**」や「**仕事・起業の支援**」という項目に関心が高い傾向となりました。




近大をすすらんか
KINDAI Ramen Venture


子どもファースト
Higashiosaka


#子どもファースト　#東大阪市
若者・子育て世代に選ばれるまち


子どもファースト
Higashiosaka
#子どもファースト　#東大阪市
若者・子育て世代に選ばれるまち
東大阪


子どもファースト
Higashiosaka
#子どもファースト　#東大阪市
若者・子育て世代に選ばれるまち
東大阪


子どもファースト
Higashiosaka
#子どもファースト　#東大阪市
若者・子育て世代に選ばれるまち
東大阪